

SJWS 版「創発的研究支援事業」説明会開催と推敲支援のご案内

10月3日（火）18:00～

オンラインにて

対象：日本女性科学者の会の会員、もしくは入会を検討中の方

講師：塩満典子先生

概要：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「創発的研究支援事業」の公募が8月23日から始まりました（締切：10月25日。詳細・募集要項はJSTホームページ参照：<https://www.jst.go.jp/souhatsu/call/index.html>）。本事業では、破壊的イノベーションにつながるシーズを創出する潜在性をもった科学技術に関する研究分野を対象に、失敗を恐れず長期的に取り組む必要のある挑戦的・独創的な研究提案を募集しています。今回、SJWSは採択支援を目的に、同事業への応募にご関心をお持ちのSJWS会員および入会をご検討されている方々を対象に、①事業内容の特色、科研費や他の研究費制度との違い、②過去の採択課題・採択率、③新しいPOとそのメッセージとともに、講師の視点から見た採択のポイントについて解説する説明会を企画いたしました。また、申請書の推敲支援ができる課題数に限りはありますが、ご希望先着順で、経験豊かなSJWSのメンター（氏名・所属：リスト公表）がサポートを行います（申請書の秘密は厳守いたします）。皆さま、奮って、説明会と推敲支援の機会をご活用ください。

講師プロフィール：

塩満典子（しおみつ・のりこ）

現職：広島大学 学術・社会連携室 未来共創科学研究本部副本部長・特命教授  
競争的研究費制度を熟知、採択支援の実績が豊富。1984年科学技術庁（現・文部科学省）入庁。2005年、内閣府男女共同参画局調査課長のときに、「科学技術の進展と男女共同参画」を特集テーマとして「平成17年版男女共同参画白書」を執筆（コラムで日本女性科学者の会（SJWS）を紹介）。同年度に閣議決定された「第2次男女共同参画基本計画」・「第3期科学技術基本計画」における女性研究者の活躍促進の記述拡大、翌年度からの女性研究者支援施策の初の予算化に貢献。2007年SJWS功労賞受賞。科学技術振興機構（JST）において、科学技術システム改革推進室長として、若手・女性研究者支援、イノベーション創出、国際共同研究のプログラム・マネジメント、審査・評価委員会の運営を行った。宇宙航空研究開発機構（JAXA）、理化学研究所では、本務で研究開発マネジメントを行い、兼務で男女共同参画推進室、ダイバーシティ推進室を各々立ち上げた。奈良先端科学技術大学院大学教授、お茶の水女子大学学長特別補佐・教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所上席フェロー等を歴任。在宅介護歴10年。

2021年3月、文部科学省定年退職。現在、山口東京理科大学特命教授、中部大学客員教授、日本原子力学会理事、JAXA 客員を兼業。

著書：『研究資金獲得法』（丸善、2008年）、『科研費採択に向けた効果的なアプローチ』（学文社、2016年）、『研究資金獲得法の最前線』（学文社、2019年）